

# 令和元年度事業報告書

---

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

社会福祉法人柳川市社会福祉協議会

## 令和元年度 事業報告概要

柳川市社会福祉協議会では「笑顔でつながる福祉のまち柳川」を基本理念として、福祉活動への住民の参画を得ながら、行政をはじめ地区社会福祉協議会及び福祉関係機関・団体等と連携・協働し事業推進に取り組んできました。

事業の推進にあたっては、平成 30 年に策定した「第 2 期柳川市地域福祉活動計画」に基づき、地域住民の個別ニーズに応える生活支援や地域の福祉関係者及び団体等と連携し、制度の狭間にある様々な福祉課題に対応していくための福祉事業や福祉活動を実施、推進してきました。

### 《重点目標について》

#### 1. 社会福祉充実計画の着実な実施及び働き方改革関連法への適切な対応

今般の社会福祉法人制度改革（平成 29 年 4 月 1 日施行）に伴い、本会では、平成 29 年度に社会福祉充実計画（理事会、評議員会及び所轄庁承認済み）を策定し、地域福祉推進のための職員の増員及び老朽化に伴う車両の買い替えを随時実施しています。

今年度については、車両 2 台の買い替えを行っており、引き続き関係法令及び社会福祉充実計画を順守し、適切な法人運営に努めていきます。

また、働き方改革関連法の施行に伴い、年次有給休暇の取得推進及び雇用形態による不合理な処遇格差の解消に努めました。

#### 2. 第 2 期地域福祉活動計画の推進

第 2 期地域福祉活動計画の 2 年目となることから、計画に掲げた基本目標の実現に向け計画の着実な推進に取り組みました。

地区社協の活動支援については、各地区で開催された内部研修への職員派遣や視察研修の調整等、地区担当職員による個別支援に努めました。また、市内の各地区社協の代表者等を対象に他市の活動を学ぶため研修会を開催しました。

さらに、地域の福祉関係者を中心とした要援護者への見守り活動の充実強化を図るため、地区社協に対する要援護者情報の提供体制を構築するとともに、見守りマップづくりなどを通じて情報交換の場をつくり、福祉関係者相互の連携強化と情報提供に努めました。

判断能力が不十分な方の金銭管理等の支援を行う日常生活自立支援事業については、これまで基幹的役割を担う筑後市社協のもと事業を推進してきましたが、年度中に全市町村方式に移行されたことに伴い、福岡県社会福祉協議会との委託契約に基づき事業利用に関する初期相談から面談、契約締結までの業務全般を担う専門員を新たに配置し事業に取り組みました。

福祉委員の活動支援については、新任者研修や地区別研修、全体研修を開催し福祉委員の資質向上を図るなど個々の活動支援に取り組みました。また、今年度末で任期満了となることから、次期候補者の推薦手続きを進めました。

身近な地域で住民同士の交流や居場所づくりを目的に実施されているよりあい活動の普及推進を図るため、新規立ち上げに対する助成制度を新設し 6 団体の立上げを支援しました。

また、よりあい活動実施地区からのレクリエーション指導要請に対し、職員を派遣し遊具を活用したレクリエーション指導を行うことでよりあい活動の更なる普及推進に努めました。

不要となった育児用品の橋渡しを行う子育て支援ゆずりあい事業については、広報活動及び市内の子育て関係機関にチラシ等配布し事業周知を行い、ベビーバス等 5 件の育児用品の登録に繋がりました。

### 3. 社会福祉法人連絡協議会の設立

社会福祉法人制度改革に伴い、すべての社会福祉法人に地域における公益的な取り組みを実施する責務が課せられたことから、7月の社会福祉法人連絡協議会の設立総会開催に向け、代表法人会議を開催し、市内10法人が参加し、連絡協議会が設立しました。

### 4. 地域に根ざした在宅福祉サービスの充実

介護予防・日常生活支援総合事業については、介護予防訪問介護サービス・訪問型サービスA（生活管理指導員派遣事業）の利用者が増加傾向にあります。生活援助を対象としたサービスを提供していますが、処遇が困難な事例も発生しているため市・地域包括支援センター等の各種関係機関と連携しながら地域支援に取り組み、高齢者等のニーズに合ったサービスの提供に努めました。

介護保険事業については、制度に基づく介護サービスの提供と併せ、既存の制度の中では対応できない介護サービスニーズに応えるために、社協独自による自費サービスの提供を通じて、要援護者の生活の支援に努めました。

また、各種受託事業については、関係部署との連携を図り、安定した在宅介護サービスの提供に努めました。

以下、令和元年度の事業概要について報告します。

## 1. 法人経営部門

### (1) 理事会・評議員会等の開催

理事会の開催	5回（5/30. 6/14. 10/8. 12/20. 3/12）
監事会の開催	1回（5/17）
評議員会の開催	3回（6/14. 10/31. 3/24）
正副会長会の開催	1回（3/3）
企画財政委員会の開催	1回（1/31）
評議員選任・解任委員会	2回（6/5. 10/18）
表彰審査委員会	1回（9/12）

### (2) 職員の教育・研修 2回（職員基礎、人権同和）

### (3) 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣日数9日間、派遣者2人（正規職員）

### (4) 福祉人材育成のための実習受入れ

介護員養成実習3人

## 2. 地域福祉活動部門

### (1) ボランティアセンター管理運営

窓口対応件数 555件      ボランティア体験会（1日間、34人参加）

### (2) ボランティア入門講座 3日間、参加者42人

### (3) 傾聴ボランティア養成講座 4日間、参加者171人

- (4) 災害に強い地域づくり講座 2 地区、参加者 101 人
- (5) よりあい活動支援講座 3 日間、参加者 22 人
- (6) 市民福祉講座 3 日間、参加者 35 人
- (7) 障がい者問題啓発セミナー 2 日間、参加者 18 人
- (8) 福祉教育教材配布 (小学校 19 校、特別支援学校 1 校) 577 冊
- (9) 社協だよりの発行 年 6 回 (No.85～No.90)
- (10) 第 15 回柳川市社会福祉大会 10/19 柳川総合保健福祉センター 400 人
- (11) 地区社協事業  
全体連絡会 2 回 研修 1 回 個別支援 60 回
- (12) 福祉委員設置推進  
305 行政区／451 人 新任者研修 1 回、全体研修会 1 回、地区別研修会 4 回
- (13) よりあい活動室内遊具貸与事業 貸与件数 33 件
- (14) よりあい活動支援助成金 6 団体 (1 団体につき 1 万円)
- (15) 子育て支援講座 2 日間、参加者 10 人
- (16) 火災見舞品支給 2 件／3 セット
- (17) 物故者敬供事業 852 件
- (18) 助成事業  
歳末たすけあい (19 地区社協、982,900 円)  
福祉団体活動支援 (4 団体、810,000 円)  
ボランティア団体活動支援 (3 団体、106,000 円)  
ボランティア連絡協議会活動支援 (99,000 円)
- (19) 地域における公益的な取り組みの推進  
社会福祉法人代表人会議 1 回

### 3. 市民福祉サービス部門

- (1) 生活福祉資金貸付事業 相談件数 93 件 申請件数 35 件 決定件数 35 件
- (2) 緊急支援品支給事業 申請件数 38 件 実申請者数 24 人
- (3) 心配ごと相談事業 開設日数 45 日 相談件数 38 件
- (4) 日常生活自立支援事業 利用者数 23 人 延べ支援回数 284 回
- (5) 福祉用具貸与事業 年間貸与延べ件数 1,244 件
- (6) ハンディキャブ貸与事業 年間貸与件数 68 件 実利用者数 14 人
- (7) 各種機材・機器等貸与事業 高齢者疑似体験用具 6 件
- (8) 福祉バス事業 (市受託) 利用日数 95 日 利用者数 1,205 人
- (9) 老人福祉センター管理運営  
大和老人福祉センター 開館日数 290 日 延べ利用者数 9,551 人  
三橋老人福祉センター 開館日数 258 日 延べ利用者数 10,236 人
- (10) 柳城児童館管理運営 開館日数 240 日 延べ利用者数 (保護者 4,116 人／乳幼児 4,823 人)
- (11) ファミリーサポートセンター管理運営 活動件数 821 件 会員登録数 460 人

#### 4. 在宅福祉サービス部門

(1) 介護保険・障害者総合支援事業

居宅介護支援	ケアプラン作成	1,494 人	
訪問介護	利用者数	399 人	利用回数 4,219 回
障害者居宅介護	利用者数	212 人	利用回数 2,079 回

(2) 予防給付事業

介護予防支援	利用者数	273 人	
介護予防・日常生活支援総合事業	訪問型サービス		
	利用者数	655 人	利用回数 3,964 回

(3) 在宅介護自費サービス事業

利用回数 336 回

(4) 地域生活支援事業

移動支援 利用回数 353 回

(5) 障害者相談支援事業

相談件数 9,968 件

(6) 生活管理指導員派遣事業

派遣回 432 回

(7) エンゼルサポーター派遣事業

派遣回数 0 回

(8) 高齢者生きがい活動支援通所事業

実施日数 213 日 延べ利用者数 2,423 人

## 事業報告付属明細書

### 《法人経営部門》

#### 1. 理事会・評議員会等の開催

会議名等	時期・場所等	議案内容及び主な意見
(1) 理事会	<b>第 1 回理事会</b> ○令和元年 5 月 30 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 10 人（総数 12 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 1 人 ※定数 2 人 ・事務局 6 人 ○全議案全会一致で可決	<b>議案第 1 号</b> 平成 30 年度事業報告並びに決算報告 [監査報告及び監事の意見] ・会計処理については、適正な事務処理がなされており、不整な点は無かった。 <b>議案第 2 号</b> 福祉用具貸与規程の一部改正 <b>議案第 3 号</b> 次期役員選任候補者の推薦 <b>議案第 4 号</b> 後任評議員候補者の推薦 <b>議案第 5 号</b> 後任評議員選任・解任委員の選任 <b>議案第 6 号</b> 定時評議員会の招集 <b>議案第 7 号</b> 評議員選任・解任委員会の招集 <b>報告第 1 号</b> 平成 30 年度会長・常務理事の職務執行状況（下半期）の報告
	<b>第 2 回理事会</b> ○令和元年 6 月 14 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 12 人（総数 13 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・事務局 4 人 ○全議案全会一致で可決	<b>議案第 1 号</b> 会長の選任 <b>議案第 2 号</b> 副会長の選任 <b>議案第 3 号</b> 常務理事の選任
	<b>第 3 回理事会</b> ○令和元年 10 月 8 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 11 人（総数 13 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・事務局 3 人 ○全議案全会一致で可決	<b>議案第 1 号</b> 日常生活自立支援事業の受託 [主な意見及び質疑] ・生活支援員の養成について <b>議案第 2 号</b> 定款の変更 <b>議案第 3 号</b> 経理規程の一部改正 <b>議案第 4 号</b> 令和元年度資金収支補正 [第 1 号] <b>議案第 5 号</b> 後任評議員選任候補者の推薦 <b>議案第 6 号</b> 後任評議員選任・解任委員の選任 <b>議案第 7 号</b> 評議員会の招集 <b>議案第 8 号</b> 評議員選任・解任委員会の招集
	<b>第 4 回理事会</b> ○令和元年 12 月 20 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者	<b>議案第 1 号</b> 給与規程の一部改正 <b>議案第 2 号</b> 専任職員就業規則の一部変更 <b>議案第 3 号</b> 顕彰規程の全部改正 [主な意見及び質疑]

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事 12 人（総数 13 人） ※定数 10 人以上 15 人以内</li> <li>・監事 2 人 ※定数 2 人</li> <li>・事務局 4 人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で可決</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア連絡調整的団体について</li> <li>・民生委員・児童委員の顕彰条件について</li> </ul> <p><b>報告第 1 号 令和元年度会長・常務理事の職務執行状況（上半期）の報告</b></p>
	<p><b>第 5 回理事会</b></p> <p>○令和 2 年 3 月 12 日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事 12 人（総数 13 人） ※定数 10 人以上 15 人以内</li> <li>・監事 1 人 ※定数 2 人</li> <li>・事務局 6 人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p><b>議案第 1 号 令和元年度資金収支補正予算[第 2 号]</b> [主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具利用料改定に伴う利用者の意見について</li> </ul> <p><b>議案第 2 号 心配ごと相談事業運営規程の一部改正</b></p> <p><b>議案第 3 号 令和 2 年度事業計画</b> [主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内のこども食堂等への支援状況について</li> </ul> <p><b>議案第 4 号 令和 2 年度資金収支予算</b></p> <p><b>議案第 5 号 後任評議員選任候補者の推薦</b></p> <p><b>議案第 6 号 評議員会の招集</b></p>
<b>(2) 監事会</b>	<p><b>第 1 回監事会</b></p> <p>○令和元年 5 月 17 日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監事 2 人 ※定数 2 人</li> </ul> <p>○指摘事項なし</p>	<p>平成 30 年度事業報告及び決算報告に係る監査</p>
<b>(3) 評議員会</b>	<p><b>定時（第 1 回）評議員会</b></p> <p>○令和元年 6 月 14 日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員 13 人（総数 20 人） ※定数 17 人以上 22 人以内</li> <li>・監事 2 人 ※定数 2 人</li> <li>・会長、常務理事</li> <li>・事務局 6 人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p><b>議案第 1 号 平成 30 年度事業報告並びに決算報告</b> [監査報告及び監事の意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計処理については、適正な事務処理がなされており、不整な点は無かった。</li> </ul> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉充実残額の計算において控除されるものについて</li> </ul> <p><b>議案第 2 号 次期役員を選任</b></p>
	<p><b>第 2 回評議員会</b></p> <p>○令和元年 10 月 31 日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員 17 人（総数 20 人） ※定数 17 人以上 22 人以内</li> <li>・会長、常務理事</li> <li>・事務局 3 人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p><b>議案第 1 号 定款の変更</b></p> <p><b>議案第 2 号 令和元年度資金収支補正予算[第 1 号]</b> [主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加入する保険の補償内容について</li> <li>・委託料収入の積算について</li> </ul>

	<p><b>第3回評議員会</b></p> <p>○令和2年3月24日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員16人（総数19人）</li> <li>※定数17人以上22人以内</li> <li>・会長、常務理事</li> <li>・事務局6人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p><b>議案第1号 令和元年度資金収支補正予算[第2号]</b></p> <p><b>議案第2号 令和2年度事業計画</b></p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉委員への研修及び報酬について</li> </ul> <p><b>議案第3号 令和2年度資金収支予算</b></p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協会費の納入率について</li> <li>・行政区未加入世帯への対応について</li> </ul>
(4) 正副会長会	<p><b>第1回正副会長会</b></p> <p>○令和2年3月3日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長</li> <li>・副会長2人</li> <li>・常務理事</li> <li>・事務局6人</li> </ul>	<p><b>協議第1号 心配ごと相談事業の開所日の変更</b></p> <p><b>協議第2号 令和2年度事業計画</b></p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柳城児童館の運営について</li> <li>・各事業の進捗状況について</li> <li>・見守りマップ作りの推進について</li> </ul> <p><b>協議第3号 令和2年度資金収支予算</b></p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点ごとの職員体制の違いについて</li> <li>・純資産比率等の今後の推移見込について</li> </ul>
(5) 企画・財政委員会	<p><b>第1回企画・財政委員会</b></p> <p>○令和2年1月31日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画・財政委員6人</li> <li>※定数8人</li> <li>・会長、常務理事</li> <li>・事務局3人</li> </ul> <p>○議案第1号否決、議案第2号全会一致で承認</p>	<p><b>選任第1号 委員長及び副委員長の選任</b></p> <p><b>議案第1号 福祉団体等助成金の新規交付</b></p> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体の定義について</li> <li>・主として行うボランティア活動の基準について</li> </ul> <p><b>議案第2号 令和2年度福祉団体等助成金の審議</b></p> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音訳ボランティアの録音媒体の利用状況について</li> <li>・母子寡婦福祉会の会員加入状況について</li> </ul>
(6) 評議員選任・解任委員会	<p><b>第1回評議員選任・解任委員会</b></p> <p>○令和元年6月5日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員選任・解任委員5人</li> <li>※定数5人</li> <li>・常務理事</li> <li>・事務局1人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で承認</p>	<p><b>議案第1号 後任評議員の選任</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政区長の代表者 1人</li> <li>・行政職員 1人</li> </ul>
	<p><b>第2回評議員選任・解任委員会</b></p> <p>○令和元年10月18日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員選任・解任委員5人</li> <li>※定数5人</li> <li>・会長、常務理事</li> <li>・事務局1人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で承認</p>	<p><b>選任第1号 委員長の選任</b></p> <p><b>議案第1号 後任評議員の選任</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協の代表者 1人</li> </ul>

(7) 表彰審査委員会	<b>第1回表彰審査委員会</b> ○令和元年9月12日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・表彰審査委員6人 ※定数6人 ・事務局3人	<b>第15回柳川市社会福祉大会被表彰者の審査</b> 令和元年度被表彰者 ボランティア等功労者 中島 壽代 氏 " 北野 リエ子 氏 " 堤 絵理子 氏
-------------	--	---

## 2. 職員の教育・研修

研修名等	時期・場所等	内容及び効果
(1) 職員研修	令和元年6月20日 大和総合保健福祉センター 参加者 常勤職員30人	よりあい遊具を貸し出す際に、高齢者に配慮したより良い提案ができるように「よりあい遊具を通じた高齢者等の疑似体験研修」を開催した。この研修では、身体状況によって、使える遊具と使えない遊具があることを学べたため、サロン等での遊具利用の際により良い提案を行っていく。
	令和元年8月21日 三橋総合保健福祉センター 参加者 常勤職員30人	発達障がいに対する理解を深め、当事者のニーズに適切に対応できるようになるために「気になる子の気持ちの疑似体験研修」を開催した。この研修では、発達障がい者の感じ方や見え方をワーク形式で体験したため、当事者の生きづらさを感じることができた。
	令和元年10月8日 柳川総合保健福祉センター 参加者 常勤職員29人	災害時に簡単にできる食事の作り方を学ぶために「サバイバル飯料理研修」を開催した。限られた食材や器材でよりおいしく料理する方法を学べたため、災害時の炊き出し等で活かせると感じた。
(2) 人権・同和研修		
i 人権を考えるつどい (柳川市主催)	令和元年12月8日 三橋生涯学習センター 参加者 役職員8人	「レインボーふれあいトーク&ライブ」(講演) 講師 中村 中 氏
ii 企業等の事業主に対する人権・同和問題研修会(大牟田地区企業内同和問題研修推進委員会主催)	①令和元年5月29日 まいピア高田 参加者 職員1人	①「絵本から学ぶ人権」(講演) 講師 そのだひさこ 氏
	②令和元年11月22日 石橋文化ホール 参加者 職員1人	②「今年の出来事から考える人権問題」 講師 橋本大二郎 氏
	③令和2年2月13日 大牟田文化会館 参加者 職員1人	③「人権が尊重される社会をつくるために」 (講演) 講師 迫本幸二 氏

※上記の他、業務上必要で専門的な外部研修等に適時参加した。

### 3. 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣先等	時期・派遣者等	内容
(1) 多久市災害ボランティアセンター	派遣期間：令和元年9月10日 ～18日 派遣日数：9日間 派遣者数：正規職員2人	令和元年8月の佐賀県豪雨災害により、被害が大きかった多久市を支援するため、多久市災害ボランティアセンター運営に携わる職員を派遣した。

### 4. 福祉人材育成のための実習生の受入

実習名等	時期・場所等	内容
(1) 介護員養成実習	令和元年8月 令和2年2月 担当：三橋支所 在宅福祉係	九州大谷短期大学 2人 4日間 " 1人 3日間

《地域福祉活動推進部門》

1. ボランティア育成・福祉教育

[ボランティアセンター管理運営]

<p>【窓口対応件数】 計 555 件 (前年比 38 件減)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの登録 19 件</li> <li>・ボランティア活動の相談 82 件 (内訳) 活動希望 19 件、活動要請 65 件 ※この内マッチング件数は 42 件</li> <li>・その他の相談 69 件</li> <li>・ボランティアセンターへの協力要請 31 件</li> <li>・ボランティア連絡協議会からの相談 24 件</li> <li>・諸室・印刷機の利用 330 件</li> <li>※ボランティアセンターへの訪問者数 279 人</li> </ul> <p>【ボランティア保険加入件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動保険 63 件 864 人(50 人増)</li> <li>・行事用保険 11 件</li> <li>・福祉サービス補償 6 件</li> <li>・送迎サービス補償 1 件</li> </ul>	<p>【登録団体件数】 計 66 団体 (前年比 5 団体増)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会ボランティア 6 団体</li> <li>・福祉ボランティア 22 団体</li> <li>・教育ボランティア 2 団体</li> <li>・文化ボランティア 18 団体</li> <li>・子育てボランティア 3 団体</li> <li>・環境ボランティア 4 団体</li> <li>・災害ボランティア 11 団体</li> </ul> <p>【ボランティア体験会】</p> <p>ボランティアを始めるきっかけづくりとして開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 8/11 親子で凧作り・凧揚げ体験！ 講師：有明凧の会 参加者 34 人</li> <li>② 3/28 ECO 活動に参加しよう！ 新型コロナウイルスのため中止</li> </ul> <p>【ボランティアサロン】 毎月第 3 土曜日開催 参加者 延べ 218 人 3 月は新型コロナウイルスのため中止</p>
<p>評価及び課題</p>	<p>今年度は、地域包括支援センター等の行政機関から障がい者や高齢者の移送や生活保護世帯の障子の張り替えなど、日常生活を支援するボランティアニーズが多かった。</p> <p>行政機関や地域住民と連携を図りながら、福祉ニーズに対応できるボランティアの確保及び育成に努めていく。</p>

[各種講座関係]

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
ボランティア入門講座	8月10日 9月4日 9月12日 全3回 柳川総合保健福祉センター	<p>ボランティアを始めるきっかけづくりや知識を深めるために実施。</p> <p>①親子でボランティア体験～アジアの子どもたちに絵本を届けよう～ 講師 柳川市社協職員 参加者 親子6組(親6人、子12人)</p> <p>②ボランティア入門～あなたはどのタイプ？自分に向いている活動分野を探そう！～ 講師 久留米市市民活動サポートセンター みんくるセンター長 翁 春仁 氏 参加者 14 人</p> <p>③手話をはじめてみよう！ 講師 柳川手話の会 宮川 氏・田島 氏 柳川聴覚障害者協会 北島 氏 参加者 10 人</p>	<p>今年度は、これまでの一般向けの講座に加えて、新たに親子を対象とした講座を実施し、ボランティア活動の紹介を行った。今後、より多くの方に参加していただけるよう広報活動を強化しながら、身近に取り組むことのできるボランティア活動の紹介を行っていく。</p>

<p>傾聴ボランティア養成講座 (入門編)</p>	<p>7月2日、10日、 16日、24日 全4回 水の郷 三橋総合保健福祉センター 大和生涯学習センター</p>	<p>地域において要援護者等の見守り活動に携わる福祉委員を対象に、今後の円滑な支援活動につなげるためのフォローアップ研修として実施。コミュニケーション技法の一つである「傾聴」の基本を学ぶとともに、傾聴を通じたボランティア活動への理解と関心を高めるため短期の講座として実施。 講師 NPO 法人日本ソーシャルコーチ協会 理事長 富岡郁雄 氏 参加者 171 人 (4 回)</p>	<p>支援者の方々に傾聴体験を促し、活動への関心を高めてもらう機会とするため、短期講座の形式で開催した。 次年度は、地域で活動できる傾聴ボランティアの養成につなげていきたい。</p>
<p>災害に強い地域づくり講座</p>	<p>8月18日 二ツ河地区 ※二ツ河地区社協主催事業に参加。  2月21日 西宮永地区  全2回 各公民館(コミュニティセンター)</p>	<p>突然の災害に備え、住民同士の支援活動が円滑に進められるよう、必要な知識の普及を図るために実施。 ①二ツ河地区 ・災害に備えた地域づくりについて ・避難行動要支援者登録について ・防災マップづくり 講師 柳川市社協 地域福祉係 柳川市役所福祉課高齢者福祉係 〃 総務課安全安心係 参加者 80 人 ②西宮永地区 ・洪水への備えについて ・災害時の適切な避難行動 講師 国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所 福岡県総務部消防防災指導課 参加者 21 人</p>	<p>平成 22 年度に開始した本講座は、地区社協を通じての災害時に備えた支援活動の促進を目的に実施しており、現在 2 週目を迎えている。 本講座を通して、地域福祉の延長線上に地域の防災・減災があることを感じていただけるよう今後も講座を企画していきたい。</p>
<p>よりあい活動支援講座</p>	<p>8月27日 9月11日 9月25日 全3回 三橋総合保健福祉センター 大和総合保健福祉センター 三五平行政区地域デイサービス「ひまわり会」</p>	<p>よりあい活動の必要性やその効果を理解し、更には実践力を習得した地域の福祉関係者を養成するために実施。 【講義・演習】 ①折り紙教室 ～折り紙で楽しく脳を活性化～ 講師 天心堂梅崎薬局 日本折り紙協会認定講師 梅崎晋子 氏 ②よりあい活動支援室内遊具体験会 講師 柳川市社協職員 【視察】 三五平行政区「ひまわり会」 参加者 22 人 ・地区社協関係者 10 人 ・地域デイサービス関係者 9 人 ・サロン 2 人 ・一般 1 人</p>	<p>今年度は、1 回目に地域内ですぐ活用できる折り紙を学び、2、3 回目に遊具説明会、遊具を活用されている地域デいの視察を取り入れた。今後は新規立ち上げにつながる講座を企画していきたい。また、遊具説明会の反響がよかったため、今後定期的に説明会を取り入れていきたい。</p>

市民福祉講座	2月5日 2月12日 2月20日 全3回 三橋総合保健福祉センター	市民の福祉への関心を高め、身近なテーマについて学習する機会を提供するために実施。 【講義】 ①今、知っておきたい「相続」の話 講師 まちなみ鑑定者 代表 福山新一 氏 ②もしもの災害に備えて ～防災気象情報とその利用～ 講師 福岡管区気象台 気象防災部予報課 平山久貴 氏 ③サルコペニア・フレイル予防運動教室 ～要介護状態にならないために～ 講師 社会福祉法人木犀会 濱砂安喜男 氏、田中高輝 氏 参加者 35人	今後の生活に役立つ内容に重点を置き「相続」、「防災」、「介護予防」のテーマで講座を企画した。 昨年度同様、半数以上が案内ハガキを送った昨年度の受講者であったため、新規参加者の増加に繋がる広報手段を考える。
障がい者問題啓発セミナー	2月8日 柳川総合保健福祉センター 2月19日 地域食堂ぼたもつつあん 全2回	障がいに対する偏見や差別をなくし、全ての人が完全参加と平等について理解と認識を深めてもらうために実施。 ①就労に必要な10の能力～幼児期・児童期に身につけておくべきこと～ 講師 障害者就労・生活支援センター ほっとかん 泉田健一 氏 ②Hot カフェ2 ～ホッと一息つきながら、いろんなお話しませんか？～ 会場 地域食堂ぼたもつつあん（新外町） 参加者 18人	昨年に引き続き、発達障がい当事者及びその家族と支援者のつどいを開催。 参加者がそれぞれの立場で気持ちや考えを表出する場所になり、定例化してほしいとの要望があったため今後企画していく。

[福祉教育関係]

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
福祉教育教材活用事業	7月5日 市内全小学校 柳河特別支援学校	市内の19小学校と柳河特別支援学校の3年生から5年生（学校で1学年選択）に577冊配布	写真やイラストが多用され児童向けで活用しやすいとの報告があった。引き続き、学校と連携し教材を活用した福祉教育を進めていきたい。

## 2. 調査・広報・普及

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
社協だより発行 (年6回発行) 第85～90号	5月15日 7月15日 9月15日 11月15日 1月15日 3月15日	<p>【第85号】平成31年度事業計画、社協会費依頼、福祉委員地区別研修報告、フォトコンテスト作品募集、子育て講座受講者募集等</p> <p>【第86号】平成30年度事業報告・決算報告、第2期地域福祉活動計画、社協会費納入依頼、よりあい活動支援講座受講者募集等</p> <p>【第87号】赤い羽根共同募金協力依頼、福祉大会お知らせ、社福連設立総会、福祉用具利用料変更お知らせ、地区社協活動紹介等</p> <p>【第88号】福祉大会報告、福祉標語・フォトコンテスト入賞作品、地区社協活動紹介等</p> <p>【第89号】年頭挨拶、日常生活自立支援事業紹介、福祉委員全体研修会報告、地区社協活動紹介、よりあい遊具説明会報告等</p> <p>【第90号】福祉委員活動紹介、地区社協活動紹介、福祉大会実行委員募集、障がい者セミナー・市民福祉講座報告等</p>	読みやすい広報誌を目指し、レイアウト及び誌面の充実を図っていく。特にレイアウトについては余白を意識したものにし、より見やすい記事づくりを心がけていく。
各種基礎調査	平成31年4月	<p>人口や世帯数、高齢者、障がい者等に関するデータ把握のため基礎調査を実施。</p> <p>《平成31年3月31日現在データ》</p> <p>①人口 66,002人(前年比827人減)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の割合32.8%(前年比0.6%増)</li> <li>・75歳以上の割合17.1%(前年比0.3%増)</li> <li>・14歳未満の割合12.0%(前年比0.1%減)</li> </ul> <p>②世帯数 25,674戸(前年比194戸増)</p> <p>③一人親世帯数 731戸(前年比33戸減)</p> <p>④65歳以上独居高齢者数 4,201人(前年比127人増)</p> <p>⑤65歳以上高齢者世帯数 3,284戸</p>	調査した福祉データを市民福祉座談会や学習会等で活用し、市民への福祉啓発を推進していく。
第15回柳川市社会福祉大会	10月19日 柳川総合保健福祉センター	<p>社会福祉の発展に功績のあった方を表彰するとともに、広く市民に参加を呼びかけ、社会福祉への関心を高める機会として実施。</p> <p>①オープニング 柳川高校吹奏楽部演奏・ダンス部演技</p> <p>②式典(表彰3人、大会宣言など)</p> <p>③当事者からのメッセージ 発表者 障がい当事者と考える柳川まちづくり研究会 会長 田嶋寿之氏</p> <p>④記念講演 テーマ 「あきらめない心」 講師 元パラリンピック競泳日本代表 伊藤真波氏 参加者 400人</p>	看護学生の参加もあり、会場はほぼ満席で大盛況であった。引き続き、多くの方々に参加していただけるような企画づくりを進めるとともに、大会の広報活動を充実させ、広く市民に周知を図っていききたい。

### 3. 小地域福祉ネットワーク、よりあい活動

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
地区社協事業	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区社協個別支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修への職員派遣 13 地区</li> <li>・その他、活動への支援 47 件</li> </ul> </li> <li>○地区社協連絡会（全体会 2 回） <ul style="list-style-type: none"> <li>6 月 18 日、2 月 26 日</li> <li>・令和元年度市社協事業等について</li> <li>・要支援者名簿の情報提供について</li> <li>・よりあい活動助成事業について</li> <li>・次年度の助成金、連絡会事業について</li> <li>・福祉委員改選に伴う推薦依頼について</li> <li>・よりあい活動の普及推進について</li> <li>・各地区の課題共有及び情報交換</li> </ul> </li> <li>○地区社協連絡会研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>10 月 4 日、三橋総合保健福祉センター</li> <li>講演 八女市における小地域福祉活動の 実践について</li> <li>講師 八女市社協職員</li> <li>参加者 31 人（14 地区）</li> </ul> </li> <li>○みんなが主役の元気な地域づくりセミナー <ul style="list-style-type: none"> <li>3 月 2 日（福岡市）</li> <li>※新型コロナウイルスの影響により中止</li> </ul> </li> </ul>	<p>地区社協の個別支援に重点を置き、研修会の開催支援や活動に対する助言等を行った。また、地域の見守り活動の強化や福祉関係者の連携強化を目的に見守りマップづくりの推進に取り組んだ。</p> <p>今後も、各地区への個別支援を中心に、関係者同士の情報共有の場づくりや活動における課題把握に努め、活動を支援していきたい。</p>
福祉委員設置 推進	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉委員設置状況（R2.3 月末現在） <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉委員数 451 人（305 行政区）</li> </ul> </li> <li>○研修等開催状況 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新任者委嘱状交付式及び研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>4 月 25 日、水の郷、参加者 29 人</li> <li>・福祉委員活動の留意点 他</li> </ul> </li> <li>2) 福祉委員地区別研修会 <ol style="list-style-type: none"> <li>①7 月 2 日、水の郷、参加者 53 人</li> <li>②7 月 10 日、水の郷、参加者 39 人</li> <li>③7 月 16 日、サンブリッジ、参加者 41 人</li> <li>④7 月 24 日、大和生涯学習センター、 参加者 38 人</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動に活かせる「傾聴」について</li> </ul> </li> <li>3) 福祉委員全体研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>11 月 16 日、水の郷、参加者 159 人</li> <li>・認知症を知り、地域で支える</li> <li>講師 柳川在宅介護支援センター 施設長 平田稲子 氏</li> <li>・活動報告 昭代沖田行政区 福祉委員 力野幸枝 氏 京出団地・荻島地区 民生委員 富安正之 氏</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul>	<p>福祉委員の活動支援を目的に新任研修会、地区別研修会、全体研修会を開催した。</p> <p>また、地区社協を通じて開催される福祉委員と地域の福祉関係者との合同研修会に職員を派遣し開催支援を行った。</p> <p>次年度、福祉委員の一斉改選を迎えるため、迅速な選任手続きと併せ、引き続き地域の福祉関係者との連携強化を進め、活動のサポートに努めていきたい。</p>

よりあい活動 支援室内遊具 貸与事業	通年	<p>○貸与件数 33 件 (内訳：地域デイサービス 12、老人会 6、 地区社協 2、その他 13)</p> <p>○品目別利用回数 輪投げ 21 回 ガンバルーン 13 回 ナンバーストライクゲーム 7 回 コーンボールセット 6 回 カラーお手玉投げゲーム 4 回 ストライクナイン 4 回 ルーレットゴルフ 4 回 的当てゲーム 3 回 紅白床置き玉入れセット 3 回 室内ペタンク 3 回 チャレンジゴルフ 2 回 カーリンコン 2 回 ビーチボール 1 回 やさしいダーツゲーム 1 回</p> <p>○レクリエーション指導回数 年 5 回</p>	<p>遊具一覧表を関係団体等に配布し、遊具の利用促進に努めるとともに、今後、地区社協福祉関係者座談会や出前講座にて事業の紹介を行い、貸与件数の増加に努めていく。</p> <p>レクリエーション指導についても、実施地区の要請に柔軟に対応していきたい。</p>
よりあい活動 支援助成金交付	通年	<p>よりあい活動の普及及び推進を目的として、市内で新規に「よりあい活動」を立ち上げる団体に対する助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成団体数 6 団体</li> <li>・助成額 60,000 円</li> </ul>	<p>よりあい活動の更なる普及を目指し、本事業の周知を図っていく。</p>

#### 4. 当事者及び当事者団体への支援

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
子育て支援講座	5月28日 6月5日 全2回 柳川総合保健福祉センター	<p>親と子どもの関係の重要性を自覚し、子どもとともに成長する喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができるよう支援するために実施。</p> <p>①心がかぜをひくとき ～安心感と自立～ 講師 西九州大学非常勤講師 臨床心理士 吉村春生 氏</p> <p>②防災ママカフェ@やながわ 講師 備災ママスターズ福岡 代表 黒屋 文 氏 参加者 10 人</p>	<p>受講者のアンケートから、「気持ちが一掃した」、「自分の生活スタイルに合わせた防災グッズを決めるのが大事だと思った」などの声をいただくことができた。今後も子育て支援に役立つ講座を企画していきたい。</p>
火災見舞品支給事業	通年	<p>火災に遭われた被災世帯に対して、急場の生活維持のために、救援物資の支給を行う。</p> <p>支給件数 2 件 (3 セット)</p>	<p>被災状況の情報を速やかに把握し、見舞品を届ける時間の短縮に努める。</p>

物故者への敬 供事業	通年	敬供件数 852 件（前年比 44 件減） ・市内 844 件（-44） ・市外 8 件（±0） ※敬供品 線香及び弔意	休日等に市外葬儀場 に敬供する必要がある 場合に備えて、本 会に数個保有してお く必要がある。
歳末助け合い 事業 ※助成事業	12 月 1 日～31 日 市内 19 地区	新年を迎える時期に要支援者が安心して暮 らすことができるように、地区社会福祉協 議会の歳末事業を支援した。 ・実施地域：柳川 8 地区、大和 6 地区、 三橋 5 地区 ・助成額 982,900 円（前年比 14,000 円増） ・主な事業：一人暮らし高齢者、寝たきり 高齢者及び施設入居者等への見舞品配布 （カツオパック、お茶、タオル、手紙など）	地区社協を通じた年 末時期のたすけあい 活動として定着して きている。 歳末期に限らず、平 常時における声かけ や見守り活動の充実 に繋がる支援を行っ ていきたい。
福祉団体活動 支援事業 ※助成事業	交付時期 令和元年 7 月	市内で活動する福祉団体の当事者同士の交 流、福祉制度の学習や広報啓発の活動を支 援した。 ・助成団体数 4 団体（前年比±0） ・助成額 810,000 円（前年比 48,000 円減）	助成するボランティ ア団体を新たに募集 する際に、「団体の発 足目的が福祉ボラン ティアを行うこと」 等の要件を明確化す るために、要綱の整 備を行っていく。
ボランティア 団体活動支援 事業 ※助成事業	交付時期 令和元年 7 月	誰もが安心して暮らせる地域づくりのた め、主に市内で活動するボランティア団体 の活動を支援した。 ・助成団体数 3 団体（前年比±0） ・助成額 106,000 円（前年比 14,000 円減）	
ボランティア 連絡協議会活 動支援事業 ※助成事業	交付時期 令和元年 7 月	市内でボランティアを行う団体又は個人の 繋がりを作り、活動を推進するために、ボラ ンティア連絡協議会の活動を支援した。 ・助成額 99,000 円（前年比 11,000 円増）	

## 5. 地域における公益的な取り組みの推進

事業の名称	事業内容	評価及び課題
設立準備会	○代表法人会議の開催 5 月 9 日 参加数 4 法人 ・協議会規約、事業計画、予算案、役員体制、総会 の役割分担について	市内の社会福祉法人 連絡協議会の設立に 寄与できた。 引き続き、本協議会 の事務局として事業 運営に努めていく。
地域公益活動への 参加	○道守柳川ネットワーク清掃活動への参加 2 月 23 日 5 人参加	

《市民福祉サービス部門》

1. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

資金種類		相談件数				申請 件数	決定 件数	償還完 了件数	年度末 貸付数
		申込	償還	その他	計				
総合支援 資金	生活支援費	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	16件
	住宅入居費	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	一時生活再建費	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
臨時特例つなぎ資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件
福祉資金	福祉費	18件	0件	0件	18件	5件	5件	2件	29件
	緊急小口資金	40件	2件	0件	42件	19件	19件	16件	46件
教育支援 資金	教育支援費	14件	0件	0件	14件	5件	5件	3件	136件
	就学支度費	15件	2件	0件	17件	6件	6件	3件	
不動産担 保型生活 資金	一般世帯	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	2件
	要保護世帯	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
離職者支援資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	3件
海苔養殖業者緊急生活資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	13件
合 計 (前年比)		89件 (-15)	4件 (-5)	0件 (±0)	93件 (-20)	35件 (-3)	35件 (-1)	24件 (+2)	247件 (+11)
評価及び課題		相談及び貸付については、生活保護費が支給されるまでの生活を繋ぐ緊急小口資金や進学に必要な費用を貸し付ける教育支援資金に関するものが多かった。償還については、生活保護世帯の償還率が低いことから、借入申込者からの同意があれば生活保護費からの代理納付が可能となる制度の運用について、引き続き行政と協議を行っていく。今後も生活困窮世帯の自立に繋がるように、借入申込者の気持ちに寄り添いながら、行政機関との連携を図り相談支援を行っていく。							

2. 緊急支援品支給事業

申請件数	実申請者数	延べ 世帯人数	支給品区分			
			アルファ米	パン	飲料水	フードバンクくるめ
38件 (-2)	24人 (+4)	53人 (-8)	206食 (-61)	97缶 (+19)	0本 (-6)	缶詰、カップ麺、レトルト食品、スープ、おかゆ、白米等
評価及び課題		この事業は、生活福祉資金の貸付けが決定されるまでの間など、一時的な食糧支援として平成26年から実施しており、本人同意のもと、民生委員等の地域の福祉関係者に生活困窮世帯の情報提供を行っている。 支援実績は、行政機関からの紹介が多く、特に高齢者世帯からの申請が増加している。 課題としては、本会からの支給品がアルファ米とパンしかなく、フードバンクからの食品提供は安定的に供給されるものではないため、今後、地元企業に協力を要請するなど、社会資源の開拓及び把握に努めていく。				

### 3. 心配ごと相談事業

場 所	開設日・時間	開設日数	相談件数	主な相談事項
柳川総合保健福祉センター 「水の郷」	毎週木曜日 13:00～16:00	45日 (-4)	38件 (-1)	財産、法律、家族、住宅、土地
評価及び課題	<p>専門相談員（司法書士）1人、民生児童委員2人の3人体制で、市民等の日常生活のあらゆる相談に応じ適切な助言指導を行い、住民の福祉向上を図ることを目的に実施している。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルスの影響で3月の当該事業を中止したことで開設日数が減少している。</p> <p>また、令和2年6月から毎月第1・第3木曜日の開催となることについて、市民への周知徹底に努める。</p>			

### 4. 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

利 用 者 数	23人(+7) ※年度中途の契約解除者を含む [内訳] 認知症高齢者16人、知的障がい者2人、精神障がい者5人
支 援 内 容	日常的な金銭管理、通帳預り、福祉サービス利用援助、生活上の助言
支 援 回 数	支援員284回(+7)、専門員49回(前年度実績無し) ※延べ支援回数
評価及び課題	<p>この事業は、令和元年度中にこれまでの基幹型実施方式から全市町村実施方式へ移行することとなり、柳川市においては令和2年1月1日から福岡県社会福祉協議会から委託を受け実施している。</p> <p>これまでと比べ、専門員と生活支援員の連携がとりやすく、急を要する案件についても対応することが可能となった。</p> <p>現在、本事業の需要は、ひとり暮らし高齢者の増加に伴い増加しているが、支援する専門員及び生活支援員は、社協職員が通常業務と兼務しながら対応していることから、生活支援員1人あたりが対応できる利用者数に上限を設けているため、市民の福祉ニーズに十分に対応できていない状況である。</p> <p>担当職員の増員について行政と協議したり、ボランティア活動や福祉に関心のある方を市民生活支援員として養成したりするなど、生活支援員の確保について検討する。</p>

### 5. 福祉用具貸与事業

用具の種別	年間貸与延べ件数	評 価 及 び 課 題
車 椅 子	312件(+18)	<p>貸与件数は、昨年度と概ね同じであったが、令和元年10月から乳児用ベッドの利用を一般世帯にまで拡充したことで、短期利用が増加した。しかし、当該ベッドは平成21年に購入したもので一部部品が破損するなど老朽化も見られ、また台数も5台と限られていることから、貸与件数の推移をみながら、増数について検討していく。</p>
電 動 ベ ッ ド	879件(-20)	
歩 行 器	34件(+1)	
松 葉 杖	3件(±0)	
乳 児 用 ベ ッ ド	16件(+16)	
合計(前年比)	1,244件(+15)	

## 6. ハンディキャブ（福祉車両）貸与事業

実利用者数 (前年比)	年間貸与件数 (前年比)	評 価 及 び 課 題
14 人 (-1)	68 件 (-43)	貸与件数は、毎月複数回利用されていた方が自分で福祉車両を購入され、本会から借用されなくなったため減少した。 また、市民から土・日曜日の利用と宿泊を伴う旅行等にも活用したいとの要望があったため、令和2年1月から休日を含め最大4泊5日までの利用を可能とした。 今後も車いす利用者の外出を支援するために、本事業の周知に努めていく。

## 7. 各種機材・機器等貸与事業

貸与品目	年間貸出件数	評価及び課題
高齢者疑似体験用具	6 件（学校 2、福祉施設 2、その他 2）	事業紹介チラシを各学校等に送付し利用促進を図っていく。

## 8. 福祉バス事業（市受託事業）

利用団体	予定日数	利用日数	利用者数
市・単位老人クラブ	55 日 (+10)	42 日 (±0)	622 人 (+12)
福 祉 団 体	16 日 (-2)	16 日 (-2)	227 人 (-24)
地 域 団 体	2 日 (+2)	2 日 (+2)	34 人 (+34)
学 童 保 育 所	0 日 (-10)	0 日 (-10)	0 人 (-237)
民生児童委員協議会	4 日 (-4)	3 日 (-5)	40 人 (-71)
市・地区社会福祉協議会	15 日 (-4)	14 日 (-5)	215 人 (-73)
柳 川 市	3 日 (±0)	2 日 (-1)	67 人 (+27)
合 計 (前年比)	95 日 (-8)	79 日 (-21)	1,205 人 (-332)
評価及び課題	<p>今年度から、大和・三橋地区の単位老人クラブが利用できるようになったことで、利用件数が増える見込みであったが、大和地区 2 件、三橋地区 3 件と思いのほか利用希望が少なかったため、昨年度と同数の利用となった。</p> <p>なお、学童保育所については、市所有のバスを利用するようになったため、本事業の対象外となった。</p> <p>また、車両の使用年数が 22 年を過ぎ、走行距離も 25 万kmを超えているため、車両の老朽化が大きな課題である。</p>		

9. 大和・三橋老人福祉センター管理運営（市受託事業）

〔大和老人福祉センター〕

月	開館日数	利用者数	平均利用者数	評価及び課題
4月	24日	818人	34.1人	常連客の高齢化が進み足が遠のいた方もおられ、利用者数は減少傾向にある。新規利用者も見られるが、利用増には繋がっていない。引き続き、トレーニングルームの利用者にも声かけして利用に繋げていきたい。また、利用者とのコミュニケーションに心がけ、丁寧な接客に努めたい。
5月	22日	675人	30.7人	
6月	26日	879人	33.8人	
7月	26日	879人	33.8人	
8月	23日	696人	30.3人	
9月	25日	808人	32.3人	
10月	26日	831人	32.0人	
11月	24日	758人	31.6人	
12月	23日	836人	36.3人	
1月	23日	799人	34.7人	
2月	23日	782人	34.0人	
3月	25日	790人	31.6人	
合計 (前年比)	290日 (-3)	9,551人 (-261)	32.9人 (-0.6)	

〔三橋老人福祉センター〕

月	開館日数	利用者数	平均利用者数	評価及び課題
4月	22日	989人	45.0人	常連客の高齢化などで、利用者は減少傾向にある。特に夏場以降は利用者の減少が続いている。新規利用者には、来館時の挨拶を心がけたい。
5月	21日	874人	41.6人	
6月	22日	847人	38.5人	
7月	24日	859人	35.8人	
8月	19日	663人	34.9人	
9月	21日	751人	35.8人	
10月	23日	901人	39.2人	
11月	21日	812人	38.7人	
12月	21日	880人	41.9人	
1月	21日	829人	39.5人	
2月	20日	836人	41.8人	
3月	23日	995人	43.3人	
合計 (前年比)	258日 (-3)	10,236人 (-982)	39.7人 (-3.3)	

10. 柳城児童館の管理運営（市受託事業）

月	開館日数	つどいの広場利用者数		つどいの広場 相談件数	児童館 相談件数	評価及び課題
		保護者	乳幼児			
4月	20日	316人	394人	183件	7件	近年、母親の仕事復帰が早くなったことや年度末に発生した新型コロナウイルスの影響により、利用者が減少した。 利用者には、シングルマザーやステップファミリーなど多様な家族形態の方も増え、声かけ時の言葉の選択に注意しながら支援にあたるように心掛けた。昨今、共働き世帯の増加に伴い、育児休暇中の利用が増え、また、日曜開館の時の父親参加が定着してきた。利用者の中から多胎児当事者の会も発足し、会場提供や運営に係る助言などの活動支援を行った。 今後更に、親子の育ちに寄与していけるよう努力する。
5月	19日	292人	297人	207件	11件	
6月	20日	348人	383人	229件	14件	
7月	22日	363人	456人	195件	17件	
8月	21日	207人	264人	110件	12件	
9月	19日	352人	396人	224件	28件	
10月	21日	470人	534人	383件	21件	
11月	20日	411人	477人	241件	18件	
12月	20日	335人	424人	186件	17件	
1月	19日	342人	395人	197件	19件	
2月	18日	391人	460人	191件	17件	
3月	21日	289人	343人	180件	14件	
合計 (前年比)	240日 (-3)	4,116人 (-613)	4,823人 (-931)	2,526件 (-385)	195件 (+12)	
<p>柳城児童館では、主に地域子育て支援拠点事業（つどいの広場「このゆびとまれ」）を実施しており、乳幼児の親子を対象としたノンプログラムでの交流の場を基本とし、子育て情報の提供や子育て相談、子育てセミナーなどの講座を開催している。また、18歳未満の子育て中の親の相談も受け付けている。</p> <p>○実施している子育て講座（参加者延べ数 親子で2,221人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆりかご子育てセミナー（年4クール、1クール5コマ講座）</li> <li>・おしゃべりカフェセミナー（年1クール、1クール8コマ講座）</li> <li>・助産師相談（年48回）</li> <li>・小児科医相談・座談会（年2回）</li> <li>・ベビーマッサージ講座（年12回）</li> <li>・絵本の会（年10回）</li> <li>・子連れDE防災講座（年1回）</li> <li>・双子ちゃんあつまれ（月1回、年10回）</li> <li>・子どもの怪我病気の対応（年1回）</li> <li>・ミニプレーパーク（年2回）</li> <li>・蒲池中学校子育て広場（年9回）</li> </ul>						

## 11. ファミリーサポートセンターの管理運営（市受託事業）

<p><b>【会員登録状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おねがい会員…327人（前年比53人増）</li> <li>・まかせて会員…104人（前年比5人増）</li> <li>・どっちも会員…29人（前年同数）</li> </ul> <p>合計…460人（前年比58人増）</p> <p><b>【まかせて会員養成講座】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 8月2日～8月29日 7人参加（6人修了）</li> </ul> <p><b>【交流会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 11月1日 参加人数21人</li> </ul> <p>※第2回は新型コロナウイルスの影響で中止</p>	<p><b>【活動件数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・821件／年（前年比254件増）</li> </ul> <p><b>【主な活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育所及び保育園から習い事までの送迎</li> <li>・学童保育所及び保育園からの迎えと預かり ※移送距離が遠い学区外のニーズもあり</li> <li>・保育園登園前の預かりから保育園への送り</li> <li>・兄弟の学校行事時の預かり</li> <li>・保護者の冠婚葬祭時の預かり</li> <li>・保護者の仕事復帰に伴う諸準備時の預かり</li> <li>・自宅から保育園までの送り</li> <li>・登校や学童までの預かりと送り</li> </ul>
<p>評価及び課題</p>	<p>平成31年4月から当該事業の利用促進のため、柳川市が1時間あたり400円の助成を行うことになり、個人負担が200円で利用できることになった。このため、おねがい会員が増加し、活動件数についてもそれに比例して増加した。個人負担が安価になったことで、サポート依頼が増えていくことが予想されるため、まかせて会員の加入促進と併せて、必要度の高い依頼内容を優先させるなど精査しながらマッチングしていく必要がある。</p>

《在宅福祉サービス部門》

1. 介護保険事業・障害者総合支援事業

月	居宅介護支援	訪問介護		障害者総合支援		評価及び課題
	利用者数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	
4月	120人	28人	309回	20人	194回	居宅介護及び訪問介護における事業所加算の取得を継続実施したことで、一定の収支改善が図られた。今後も積極的なPRや広報活動を行い、信頼される介護サービスの提供に努めていきたい。 障害者総合支援事業に関しては、施設への入所及び死亡等の理由により減少となった。
5月	125人	32人	383回	20人	192回	
6月	128人	34人	351回	19人	193回	
7月	131人	33人	419回	19人	198回	
8月	129人	33人	365回	18人	162回	
9月	128人	33人	362回	18人	167回	
10月	133人	35人	385回	17人	166回	
11月	124人	35人	334回	17人	170回	
12月	122人	34人	320回	17人	159回	
1月	119人	33人	317回	16人	152回	
2月	117人	36人	334回	16人	153回	
3月	118人	33人	340回	15人	173回	
合計 (前年比)	1,494人 (-15)	399人 (+24)	4,219回 (-242)	212人 (-19)	2,079回 (-541)	

2. 予防給付事業

月	介護予防支援	総合事業（現行訪問介護）		評価及び課題
	利用者数	利用者数	利用回数	
4月	23人	57人	353回	平成30年4月から介護予防訪問介護から柳川市が実施する総合事業に完全に移行し活動回数も昨年を上回る実績となった。利用者の自立支援のために、より専門性を発揮したサービスを提供できるよう努めていきたい。
5月	22人	53人	323回	
6月	22人	52人	292回	
7月	21人	54人	347回	
8月	23人	53人	311回	
9月	23人	54人	321回	
10月	20人	56人	366回	
11月	22人	55人	337回	
12月	23人	55人	345回	
1月	31人	57人	319回	
2月	22人	56人	312回	
3月	21人	53人	338回	
合計 (前年比)	273人 (+61)	655人 (+52)	3,964回 (+257)	

### 3. 在宅介護自費サービス事業

月	実利用者数	利用回数	評価及び課題
4月	10人	31回	徐々に事業の周知も進み、利用者数、利用回数ともに維持できた。 今後も引き続き、利用者の要望に柔軟に対応できるようサービス内容を工夫・改善しながら取り組んでいきたい。
5月	7人	28回	
6月	7人	24回	
7月	12人	39回	
8月	10人	28回	
9月	9人	28回	
10月	11人	26回	
11月	10人	26回	
12月	9人	25回	
1月	11人	32回	
2月	10人	26回	
3月	9人	23回	
合計 (前年比)		336回 (-8)	

### 4. 地域生活支援事業

#### [移動支援事業]

月	実利用者数	利用回数	評価及び課題
4月	5人	24回	移動支援事業の利用者数は増加し、年間を通して維持できた。 今後も利用者の年齢や特性を考慮し、社会参加のための外出や余暇活動に同行し、安全に支援していきたい。
5月	5人	29回	
6月	6人	29回	
7月	5人	33回	
8月	5人	13回	
9月	6人	35回	
10月	6人	34回	
11月	6人	39回	
12月	5人	31回	
1月	5人	31回	
2月	6人	37回	
3月	3人	18回	
合計 (前年比)		353回 (+58)	

**[障害者相談支援事業]**

障害 種別	身体	知的	精神	発達障害	難病	重度心身	高次脳 機能障害	その他	合計
月 件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
4月	178件	264件	266件	24件	0件	47件	1件	39件	819件
5月	173件	225件	270件	26件	0件	123件	7件	39件	863件
6月	206件	320件	193件	21件	0件	49件	19件	56件	864件
7月	205件	243件	234件	10件	0件	78件	21件	73件	864件
8月	117件	331件	211件	10件	0件	31件	3件	34件	737件
9月	171件	380件	200件	25件	0件	47件	0件	52件	875件
10月	204件	327件	151件	31件	4件	80件	0件	100件	897件
11月	158件	313件	190件	38件	1件	76件	0件	38件	814件
12月	217件	288件	152件	23件	1件	51件	8件	64件	804件
1月	151件	342件	157件	11件	0件	97件	7件	57件	822件
2月	151件	317件	165件	30件	0件	53件	1件	46件	763件
3月	164件	451件	136件	27件	0件	39件	0件	29件	846件
合計 (前年比)	2,095件 (-16)	3,801件 (-15)	2,325件 (-245)	276件 (+74)	6件 (+6)	771件 (+256)	67件 (-56)	627件 (-123)	9,968件 (-119)
相談比率	21.0%	38.1%	23.3%	2.8%	0.1%	7.7%	0.7%	6.3%	—

【相談方法】 関係機関(59%) 電話(21%) 訪問(9%) 来談(3%) 同行(1%) 電子メール(1%) その他(6%)

【支援内容】 福祉サービス(64%) 障害・病気の理解(1%) 健康・医療(8%) 不安の解決(2%)

保育教育(1%) 人間関係(3%) 家計・経済(3%) 生活技術(6%) 就労(2%)

社会参加(1%) 権利擁護(1%) その他(8%)

【サービス利用計画作成件数 183件】

内訳：知的 98件、身体 35件、精神 23件、重度心身 21件、高次脳 2件、発達障害 4件

【評価及び課題】

相談件数は昨年度より微減。今年度の報酬改定に伴いモニタリング回数が増加したことから、全相談件数に占める計画相談の割合が増加している。一方で、一般相談において困難ケース及び精神科病院や学校関係者からの相談が増えていることから、計画相談の件数を減らすため移管を進めてきたが、本人や家族の意向や他相談支援事業所の受け皿がなく、年間 10 件程度にとどまり移管が進まなかったことが課題。

5. 生活管理指導員派遣事業・エンゼルサポーター派遣事業〔市受託事業〕

月	生活管理指導員派遣		エンゼルサポーター派遣		評価及び課題
	実利用者数	派遣回数	実利用者数	派遣回数	
4月	11人	38回	0人	0回	生活管理指導員派遣事業については、利用者数は昨年より増加している。日常生活上の支援を必要とするひとり暮らし等の方で要介護認定が要支援1・2を受けた方、基本チェックリストで該当した方が自立した生活を送ることができる支援を引き続き行っていく。 エンゼルサポーター派遣事業については、今年度該当者がなかった。引き続き所管課と連携し利用者支援に繋げていきたい。
5月	10人	33回	0人	0回	
6月	9人	32回	0人	0回	
7月	10人	35回	0人	0回	
8月	13人	40回	0人	0回	
9月	13人	41回	0人	0回	
10月	9人	31回	0人	0回	
11月	11人	23回	0人	0回	
12月	13人	37回	0人	0回	
1月	14人	40回	0人	0回	
2月	15人	43回	0人	0回	
3月	12人	39回	0人	0回	
合計 (前年比)		432回 (+98)		0回 (-77)	

6. 高齢者生きがい活動支援通所事業〔市受託事業〕

月	実施日数	登録者数	実利用者数	延べ利用者数	1日平均利用者数
4月	20日	39人	36人	230人	11.5人
5月	19日	40人	37人	216人	11.4人
6月	20日	40人	38人	227人	11.4人
7月	22日	40人	36人	266人	12.1人
8月	15日	40人	36人	158人	10.5人
9月	19日	41人	38人	224人	11.8人
10月	21日	42人	35人	229人	10.9人
11月	20日	43人	36人	229人	11.5人
12月	20日	44人	37人	223人	11.2人
1月	19日	45人	37人	214人	11.3人
2月	18日	45人	37人	207人	11.5人
3月	0日	45人	0人	0人	0人
合計 (前年比)	213日 (-23)			2,423人 (-513)	11.4人 (-1.0)

【評価及び課題】

デイサービスを利用することで日常生活における活動意欲の向上及び認知症予防に繋がっている。  
3月は新型コロナウイルスの影響により事業中止。利用者は自宅待機されているため、身体・精神的機能低下が危惧される。

男性利用者の微増や他施設とのサービス併用者も増えたが、全体的に利用者の高齢化が進んでおり利用者数は減少傾向にある。事業対象者が大和地区に限定されているため、周知や広報活動に制約があるが、民生委員等を通じて新規利用者の獲得に努めていきたい。

